

「ながの花と緑大賞」の見直しについて

前回の改正(2013年)では、「個人の部」、「団体の部」を「緑化活動の部」として統合し、主に公共性の高い、『緑化活動』に焦点を当てたため、団体の活動でなければ応募しにくいなどの意識が根強く、個人での応募が減少し、全体として花と緑大賞の応募数も減少傾向にあった。

また、「緑化活動の部」として大きい括りとなったことから、個人宅から広大な公共緑地まで、同じ基準で評価することになり、審査員より、公平な評価及び審査がしにくいとの意見をいただいた。

そのため、今回の改正では、公開性は保ちつつ、要件をわかりやすく明示することにより、個人並びに新規の応募増加を狙うとともに、応募部門の細分化により、審査しやすくすることを目的とした。

1 応募対象の検討

現行	改正案
<p>(緑化活動の部) 個人や団体が整備する地域を彩る花壇や、企業が推進する緑地など、多くの人の目に触れ、楽しむことができる公共性、公開性の高い花壇やプランター等による花と緑</p> <p>(愛護活動の部) 活動を開始して1年以上の長野市公園愛護会または長野市街路樹愛護会による公園または街路樹の愛護活動で、計画性、継続性があり、工夫がみられる活動</p>	<p>(共通) 公開性(沿道、又はオープンガーデン等として一般の方に公開している)、公益性(環境保全など)があり、個人や企業、団体が取り組んでいる花壇や緑地</p>

2 応募部門の検討

- (1) これまでの「緑化活動の部」を「個人・ファミリーの部」と「企業・団体の部」に分けて、個人の応募を促進する。また、あらたに「公共緑化の部」を設けることにより、お金をかけて整備するような緑地と公共花壇等を明確に区分し、審査員が評価しやすいものとする。
- (2) 公開性(外から見えること)を前提とするが、個人のオープンガーデンや企業の屋上緑化など、一定の公開性、公益性があるものについても応募対象として明記する。
- (3) 「愛護活動の部」は、これまで公園愛護会、街路樹愛護会のみを対象としていたが、応募部門としては廃止して「公共緑化の部」に応募していただく。

応募部門	応募者
公共緑化の部	道路(街路樹、植栽帯)、公園、公民館等の公共的な場所で花づくりや壁面緑化、緑化活動に取り組む個人、団体(地区、各種団体、公園愛護会等)、学校、企業など
個人・ファミリーの部	公共的な場所以外(事業所、庭、花壇、屋上・壁面緑化、オープンガーデン等)で花づくりや緑化活動に取り組む個人、ファミリー
企業・団体の部	公共的な場所以外(事業所、庭、花壇、屋上・壁面緑化、オープンガーデン等)で花づくりや緑化活動に取り組むグループ、企業など

3 審査基準の見直しについて

審査員より、評価基準が専門的でわかりにくいとの意見があったため、審査項目をわかりやすい言葉にするとともに、評価についても現行の5段階(点数方式)から3段階程度にして、審査の簡略化を目指す。また、それぞれの審査項目ごとに1番評価の高かった作品に部門賞の付与してはどうかとの意見もあったため、その際の基準となるような項目を検討する。

- (1) 審査項目を「コミュニケーション」、「デザイン」、「環境・エコロジー」などわかりやすい項目にする。また、項目の数についても出来るだけ少なくする。
- (2) 各項目の評価について、現行の5段階の評価(点数方式)から◎(特に優れている)、○(良い)、△(もう一步)、-(対象外)などとして、評価の簡略化を図る。

審査項目	着目点
コミュニケーション	地域への広がり、人との交流、協働の取り組み
デザイン	花や緑の選択、種類、色調や高低、配置バランス
アイデア	創意工夫、種まきや挿し木での経費削減、場所の選定、壁面・屋上緑化、適材適所など
環境・エコロジー	堆肥化の取組み、CO2の削減(緑のカーテンなど)、雨水の活用、リサイクルなど環境への配慮、ヒートアイランド対策(屋上緑化など)
取り組み	応募者の思い、熱意や努力、取り組みの経緯や継続性、優れたメンテナンス

4 表彰の検討

- (1) 3つの応募部門全体の中で、最も評価の高いものを大賞として表彰。また、各応募部門で最も評価の高いものを優秀賞とする(大賞を除く)。
- (2) 審査項目と連動した部門賞をあらたに創設する。応募部門にこだわらず、全体の中から必要に応じて表彰する。
- (3) 「大賞」「優秀賞」を基本として、評価には出にくい部分(応募者の思いや熱意、努力、ストーリーなど)は「奨励賞」として表彰してはどうか。
- (4) 表彰は引き続き、賞状のみ(賞金なし)とする。また、参加賞についても無しとする。

表 彰		選考基準	
大賞	1点	全体で最も評価の高いもの	3つ以上◎で候補
優秀賞	3点	各部門で最も評価の高いもの	2つ以上◎で候補
奨励賞	必要に応じて	審査員特別賞のような位置付	
各部門賞			
コミュニケーション賞	必要に応じて	全体の中から選出	審査項目◎で候補
デザイン賞	必要に応じて	全体の中から選出	審査項目◎で候補
アイデア賞	必要に応じて	全体の中から選出	審査項目◎で候補
環境・エコロジー賞	必要に応じて	全体の中から選出	審査項目◎で候補